



# 粕屋警察署だより

須恵町

## 治安天気図



## 企画展のご案内

月曜休館・入館無料

\*入館無料\*

## 久我記念館企画展

# 布絵本「もりぼさま」原画展

8月31日(土)~9月16日(月)

須恵町に昔から語り継がれている民話があります。高鳥居城主の若君と乳母の悲話「もりぼさま」。布絵本製作グループ「すぎの子」が2年の年月をかけて布絵本を完成させました。その布絵本と原画を展示します。

## 次代へ語り継ぐ題材に

吉松喜美子(布絵本 すぎの子)

3年前、布絵本の会発足10周年記念作品として、戦国時代から須恵町に伝わる守母神社の物語を布芝居にし、子どもたちに語り継ぐための題材となればと作ることにしました。

下絵を尾崎さんに1年をかけ描いていただきました。武士の戦いの場面や、当時の若杉山から見下ろす風景や人々の暮らしを表す着物の布選びなどに苦勞し、試行錯誤を繰り返しながら一針一針、2年をかけ、作り上げました。

ぜひ、須恵町の子どもたちからお年寄りまで見ていただき、語り継いでいただけたらと会員一同願っております。



## 布絵本の魅力を感じて

尾崎友一(下絵)

須恵町立図書館と杉の子文庫とのご縁で、布絵本「もりぼさま」の下絵を描くことになりました。いろいろな資料を集め、また、岳城に登り、須恵町の風景などをスケッチしました。皆さんの助けを借りて、1年をかけ、下絵を描き上げることができました。そして、製作された人たちのご苦勞と弛まぬ努力の末、平面な下絵が、三次元の世界へと魅力いっぱいに表現されました。

布絵には響きがあります。子どもたちは、触ってお話を読まれることと思います。きっと、布絵本が持っている表情を感じ取ってくれるのではと思っています。



## イベント情報

「すぎの子」吉松喜美子さん、「下絵」尾崎友一さん、「原作」早川眞吾さんを迎えて、ギャラリートークを開催します。

- ▶日時 9月8日(日) 14時~
- ▶場所 久我記念館
- ▶入場料 無料(先着50人)
- ▶問合せ先 久我記念館 ☎932-4987

# 楽しい

# 考古学

48

## 投網の鋳型

広報すえ第513号(平成22年4月号)に掲載した「楽しい考古学」で、『200年前の陶工「実次」』という題で、上須恵の須恵焼の窯跡から出土した鋳型を紹介したことがあります。紹介した時は、焼物用の鋳型と紹介していましたが、最近、別の用途に使用されたものであることが判明しました。

投網の鋳型は全国各地から出土しています。以前、徳島大学のキャンパス内にある「常三島遺跡」から出土していることがインターネットで紹介されました。写真は、その出土状況です。



投網の様子



須恵焼の窯跡から出土した鋳型



常三島遺跡から出土した鋳型

発見当初は、須恵焼の生産に関する鋳型と考えていましたが、今回、投網用の鋳型であることが分かりました。ここで、新たな疑問が生まれました。なぜ、須恵焼を作った工房で投網のおもりを作ったのでしょうか。また、どこで投網漁をしたのでしょうか。(啓)